

- ◆開催日 令和2年2月12日(水)
- ◆時間 午後2時 開会 午後3時15分 閉会 鍛冶屋線整備作業見学(当館地階)
- ◆場所 生活文化総合センター 多目的研修室
- ◆出席委員 佐野委員 瀧原委員 足立委員 芝本委員 大平委員 埴岡委員
- ◆事務局 笹倉教育長 森脇教育部長 鈴木教育総務課長 藤井生涯学習課長
大塚生活文化総合センター館長 菅澤主任
- ◆傍聴者 1名

次第

- 1 開会
- 2 会長あいさつ
- 3 教育長あいさつ
- 4 報告及び意見交換

(1) 令和元年度文化財関係事業報告及び令和2年度文化財関係事業計画について

- 事務局 資料「協議報告資料」より、令和元年度文化財関係事業予定及び進捗状況のうち文化財保護事業について、同じく郷土資料館事業について説明
- 会長 鎌谷下池遺跡の分布調査で須恵器窯跡1基の位置を特定とあるが、これは分布調査で初めて確認した窯跡なのか、時代はどのようなものか。
- 事務局 この地域は包蔵地になっている。時代的には平安の末とか中世にかけてと考えている。事業計画については、まだ、届出が提出されていない。今後、事業がどうなっていくのか分からないが、適切に対応したいと思っている。
- 委員 兵主神社の拝殿のヒアリングの印象はどのようなものか。
- 事務局 5か年事業であげている。3年間の荘厳寺の後に兵主神社の方も屋根の葺き替え等、全体が歪んで修理が必要である旨申し出ている。
- 委員 私は逆だと思っている。兵主神社の方が、葺き替えよりも地震が来た時に倒壊の恐れがある。
- 事務局 県の担当者に見ていただいて判断して頂いた中での要望となっている。H26年以降で兵主神社は2度、小修理とかで応急処置をしている。
- 委員 後廻しにされたような感じだ。神社の建物は柱だけで持たしているから、弱い。
- 事務局 全体が毀損で歪んでいるところがあって、一部沈下した部分に指物をして固めるという対応等を行っている。
- 委員 前の葺き替えは平成10年ごろだったと思う。その時に一部、柱の固定をしていただいたように思う。
- 事務局 平成24年に千木の修復と葺の補修や、平成27年と平成29年の3回、葺き替えの折から修理をしている。
- 委員 防火のことが一番心配だが、荘厳寺のような、庫裡が離れているものとか、兵主神社の場合、地域が防火上の管理をしているのか。

- 事務局 宮司が住んでおり、宮司が管理している。
- 委員 計画書はやらないといけないし、その充実も図らないといけないけれども、西脇市内の中での防火体制と言うのは簡単に出来るのでやっておいた方がいい。
- 事務局 文化財防火デーに合わせて、3~4年前から定期的に防火訓練を実施しており、その中で、兵主神社も実施しています。実施未指定文化財については今後の検討課題として対応する。
- 委員 ○○さんの収集資料がどのような状態になっているのか。西脇市関係の非常に重要な古文書類がかなり集積されている。その保存をどう図るのか。予定や経過とかを教えてください。
- 事務局 こちらの方から具体的なお話を持っていくのは難しい。特に具体的な計画があるわけでもない。
- 委員 息子さんは、そこに住んでいるのか。
- 事務局 住んでいるが、特にそういう話の持ちかけは無い。どういう働きかけをすればいいのか迷っているところである。
- 委員 寄託なり寄贈なりしていただけますかと言うのが一番シンプル。西脇市内の文書を集めて持っておられ、この地域の非常に珍しい藩札も持っておられた。取りあえずは、○○さんの収集されている資料をどうにか保存するか、その辺を検討して頂きたいと思う。
- 会長 ご遺族に古文書とか古い文献について関心がないと、古本屋に渡るのはまだ良いが、燃やしたりとか、ゴミで出したりということがある。
- 委員 ○○さんのお家の様子をよくご存じの方に、収蔵品がどういう状態か、どの程度の量かを知っている方にヒアリングをしたらいい。
- 会長 西脇市と神戸大学との地域連携センターと言うのは提携しているか。
- 事務局 地域連携センターではなく、神戸大学人文学研究科である。
- 委員 例えば、朝来市の生野鉦山の資料なんかは、ずっと定期的に整理をしてもらっている。○ ○文庫として、一人大学院生か誰かをつけてもらって整理していくという手もある。
- 会長 ○○先生の資料については、前向きに検討してほしい。
- 委員 鍛冶屋線の関係の報告書、これを令和3年に刊行を送ったことについて、原因は何か。
- 事務局 整理作業の進捗が遅れている。
- 委員 遅れた理由は、人手が足りないということか。
- 事務局 そうなことだ。
- 委員 報告書を出す段取りとしての一番大きいのは、出荷の実測図、トレース、そういうところだと思う。バイトを雇い進めていかないと、3年に出す保証もないと思う。
- 事務局 人員増について人事等には要望している。今後の課題として検討したい。
- 委員 無形民俗文化財調査について、ここに行く予定があります等のお知らせを頂ければと思う。未指定文化財調査、計画についてお聞きしたい。
- 事務局 現段階では文化財保護法の改定に伴って、各市とも悩んでいるところで、情報を聞きながらやっている。今のところ、地域の悉皆調査が出来ていないが、最短で令和2年度以降に出来るように考えている。
- 委員 事前の日程等が分かればご連絡をお願いしたい。
- 委員 どんなタイムスケジュールでやるのか。悉皆調査、美術工芸の方をやって建造物もやるのか。悉皆調査を内々でやってそれから事業計画にして出すのか。本格調査をやらないとだめ

だ。報告書を出すためには10年くらいかかる。

- 事務局 10年はかかるような事業であるが、県・他市町で聞いているかぎりでは、先ず、何処に何があるかを把握すること。報告書が無くても市史には載せている。そういうのが無い。
- 委員 悉皆調査がいつ終わるのか。
- 事務局 実施できるだけの体制ができない。各市によると令和3年度以降の着手が一番多い。
- 委員 手を上げるのも西脇市が最後になる。タイムスケジュールを今一度、相談されてやらないとだめだ。
- 委員 保存活用計画を立てて入れておけばお金もつくようになる。法定の事業計画になれば、金が出る意味ではよくなった。予算をつけてスムーズに円滑に進めて行く方がいい。

(2) 西脇市立西脇小学校改修工事報告書について

- 会長 (2) 西脇市立西脇小学校改修工事報告書に
- 委員 昨年無事に3棟の改修を終わった、今、外構の整備をしているところである。外構についてもほぼ3月の中旬位で終了する予定。最終年度になり報告書を作成しなければならないが、40頁ほど完成している。まだ150頁くらいあり、整備をしているところである。3月末を一区切りにして進める。今回は保存改修工事になる。
- 会長 全国的に古い木造校舎の保存問題が、問題となっている。西脇市の場合は、改修工事が終わったと言うことで嬉しく思う。有終の美を飾るという意味でも立派な報告書が出来るように期待をしている。次に、文化財保存活用地域計画について策定しなさい、文言では策定するのが望ましいというような表現であるが、要はやって下さいという指示だと思う。西脇市の基本的小お考えを示し願いたい。
- 事務局 地域保存計画につきましては、まず、人材育成から始めなければならない、人を新たに採用、それが出来なければ人材を育てていくというような方向で、一から順番に進めていかなければならないと考える。悉皆調査について、西脇市内でも文化財が分からないものも含め、まずこなしていくということが第一段階だと思う。それを2~3年かけて実施していければと考える。ただ、有識者の関わり方は、今後の検討課題になると思う。
- 会長 鍛冶屋線跡地の報告書もあり、西脇小学校の報告書も事業として抱えており事務局としては、限界を超えていると思う。それを踏まえて更に、この地域計画を策定するだけの体制が出来ているのかどうか、しっかりとした体制で地域保存計画に臨めるように、人材面や事業面でのバックアップを考えてほしい。
- 委員 兵庫県は個別の保存活用計画を急げと言ってないか。
- 事務局 県指定文化財については、策定する方が好ましいということまでしか言われていない。
- 委員 国の重要文化財はもうすぐ終わる。その後、県に指導が来るので人的体制を早めに整えられた方がいい。
- 事務局 県は、地域計画を策定するようと言っている。
- 委員 前回、人員を増やす予定と言われていたが、進んでないのか。
- 事務局 4月から学芸員を一人雇用したと報告した。元、学校の先生である。
- 委員 その人は歴史の方か。
- 事務局 文献の方で古文書の講座を担当している。

- 会 長 ○○先生が亡くなられて、童子山のリニューアルについても人手がかかる。大変だと思う。市広報の9月号の文化財特集は良かった。待望の特集だった。ただもう少し早く送って頂きたかった。
 - 会 長 他に無いようであれば、審議会を終了する。
- ※ このあと鍛冶屋線整備作業視察のため、地階に移動し、視察後解散